

農作物の生育状況（5月25日現在）

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室

1 水 稲

- ・田植は5月8日頃から始まり、最盛期は5月21日とほぼ平年並みに、5月25日現在の進捗率は87%となっている。移植後の生育は、好天に恵まれたことから活着は良好で、現在は分けつが発生し始めている。
また、直播栽培も、は種後の出芽は良好で、その後の生育は順調である。

2 小 麦

- ・出穂期は5月14～18日で、開花期は5月22～24日頃と見込まれる。生育は概ね良好で、病虫害の発生は少ない。

3 果樹

(1) りんご（ふじ）

- ・落花日は、弘前市独狐で5月10日、平川市金屋で5月11日と、平年より6～8日早まっている。病虫害は、アブラムシの発生が見られはじめた。

(2) ぶどう（スチューベン）

- ・展葉日は、弘前市石川で平年より6日早い5月2日と昨年の4月30日に次ぎ、昭和57年の観測以来5番目の早さとなった。病虫害の発生は特にはない。

(3) もも（川中島白桃）

- ・落花日は、平川市新館で5月9日と平年に比べ4日早く、好天に恵まれて結実も良好である。病害は、一部園地で縮葉病が見られる。

4 野 菜

(1) にんにく

- ・4月中旬頃まで気温が高めに経過したことから、草丈、生葉数、茎径とも平年を上回り、りん片分化は4月24日と平年より6日早かった。さび病、春腐病の発生はみられない。

(2) トマト

- ・生育は平年より進んでいる。

5 花 き

(1) トルコギキョウ（お盆以降の出荷作型）

- ・定植は3月下旬からスタートしており、作業は概ね順調に進んでいる。定植後の生育は順調である。病虫害の発生は特には見られない。

(2) 輪ギク（8月上旬出荷作型）

- ・好天に恵まれたため初期生育は順調で、病虫害の発生は特には見られない。



「もも」

4月25日

左：弘前市 高杉

右：平川市 講習会